

## 週刊 女川湾海況速報 (No.58)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

9 月 2 日から 6 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

## 観測点



## 小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して全層で水温は上昇したが、塩分は下降傾向。水温と塩分はそれぞれ 23～24℃台、32～33 台を示した。経時的には表層（0m）の水温は 5 日まで上昇傾向にあり、5 日には 24℃を示した。底層（5m）では期間を通じて下降傾向にあり、5 日以降に 22℃台を示した。塩分については、表層で 3 日以降に 32 台を示し、5 日に一旦上昇。底層では期間を通じて上昇傾向。

水深 [m]	9月2日 (月)	9月3日 (火)	9月4日 (水)	9月5日 (木)	9月6日 (金)
0	23.5 (33.0)	23.5 (32.9)	23.9 (32.5)	24.0 (32.8)	23.6 (32.6)
5	23.5 (33.0)	23.4 (33.1)	23.2 (33.1)	22.5 (33.3)	22.6 (33.4)

水温の単位は℃。\*5日は水深4mのデータを使用。

②濁度：先週と比較して全層で上昇。経時的には期間を通じて全層で上昇傾向。特に底層では 5 日に一旦上昇し、期間を通じての最大値(3.9FTU)を示した。(単位はFTU)

水深 [m]	9月2日 (月)	9月3日 (火)	9月4日 (水)	9月5日 (木)	9月6日 (金)
0	0.5	0.5	0.9	1.1	1.2
5	0.3	0.8	1.6	3.9	1.8

③溶存酸素：先週と比較して表層で上昇したが、底層では下降。期間を通じて 6～7mg/l 台を示した。経時的には表層で 3 日と 6 日に一旦下降。底層では期間を通じて下降傾向にあり、4 日以降に 6mg/l 台を示した。

水深 [m]	9月2日 (月)	9月3日 (火)	9月4日 (水)	9月5日 (木)	9月6日 (金)
0	7.5	7.0	7.6	7.5	6.8
5	7.5	7.0	6.6	6.5	6.4

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

## St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 21.5～23.8℃、31.6～33.5 の範囲にあった。表層では塩分が 31 台を示していたことから、降水の影響と推定。濁度は 0.8～3.0FTU の範囲にあり、底層（19m）で最大。溶存酸素は 6.0～7.5mg/l の範囲にあり、底層で最小。表層では濁度と溶存酸素が比較的高かった。

9 月 5 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	23.8	31.6	1.3	7.5
5	22.5	33.3	0.8	6.9
10	22.2	33.4	0.9	6.5
15	21.9	33.5	0.8	6.4
19	21.5	33.4	3.0	6.0

本データの利用については、  
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

[agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp)

までお問い合わせください。